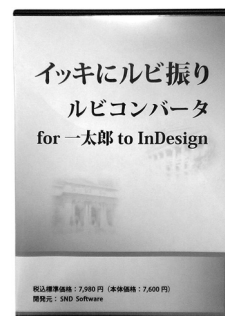


SND Software 一太郎ルビを InDesign ルビに変換するコンバータ
「イッキにルビ振り ルビコンバータ for 一太郎 to InDesign」を発売
一太郎の優れたルビ振り機能を生かし、入力者・オペレーターの方の負担を軽減します！

SND Software (エスエヌディー ソフトウェア 所在地：埼玉県新座市 代表：鈴木彰彦) は、Adobe InDesign 用コンバータ「イッキにルビ振り ルビコンバータ」を、5月15日より発売します。

本製品は、ワープロソフト「一太郎」で作成されたルビ入り文書、InDesign 用のタグ付きテキストに変換します。変換後は自動で InDesign に一気に流し込みまで行い、バッチ処理的なワークフローを実現します。



【ルビ振り作業における入力者の負担と背景】

ルビ振りは、コンピューター化が進む DTP の現場においても、依然として手間がかかる作業の1つです。DTP ソフトでは、1 語句ごとにウィンドウを開いてルビを入れるため、ルビが多いと複雑になります。また、専用のルビ振りソフトは価格が高めであったり、モノルビのときに毎回スペースなどの区切りが必要であったり、選択肢が限られていました。

【一太郎の優れた機能を最大限に生かす】

Word や一太郎に限らず、汎用的なソフトの優れた部分を最大限に生かす DTP ワークフローの構築が、今後重要になってくると思われます。そこで「ルビを振る」という機能そのものに焦点を当てた場合、

- ①すべての語句に自動でルビを振る ②小学校学年別に自動でルビを振る
- ③初出の語句のみ自動でルビを振る ④特定の語句に対し、決まった読みでルビを振る

①～④は、一太郎が Word に比べ優位性を持つ (あるいは精度が高い) 機能であると判断しました。

このほかパラルビについても、ショートカットキーを併用すれば、リズムカルに自動でルビを振っていくことが可能です。特に一太郎2006では、従来に比べモノルビの精度が大きく向上しています。これらの「ルビを振る」という機能を最大限に活用することも、本製品開発の大きなテーマとなっています。

【その他製品の主な機能・特長】

- 1. 一太郎のルビ入り文書を doc 形式で保存し、実行ボタンを押すだけで変換が可能。
- 2. カタカナのルビへの変換や、ルビ拗促音を大文字にすることが可能。
- 3. 一太郎での簡単な操作で、割注形式のルビや圏点の出力が可能。
- 4. InDesign が入っていない PC 上でも変換 (タグ付きテキストの生成) が可能。
- 5. Windows 用だけでなく、Mac 用 InDesign のタグ付きテキストも同時に作成可能。

【動作環境】

対応 OS : Windows XP ※1

必須アプリケーション : Microsoft Office 2002 以上 (2002、2003) の製品のうち、Microsoft Word ※2

対象アプリケーション : 一太郎 (2004、2005、2006) および Adobe InDesign (2.0、CS、CS2)

※1 MacOS9・OSX の InDesign (2.0、CS、CS2) には、テキストを手動で流し込むことで対応が可能です。

※2 Word 形式 (doc) ファイルを対象に変換を行いますので、Word が必須アプリケーションとなります。

【価格】 税込標準価格 : 7,980円 (パッケージ版) 6,930円 (ダウンロード版)

※体験版も発売と同時にダウンロード可能です

<本件に関する連絡先>

SND Software (エスエヌディー ソフトウェア) 設立 : 2005年3月 担当 : 鈴木彰彦

Tel : 048-481-4265 Fax : 048-229-4510 E-Mail : snd@plala.to

URL : http://www14.plala.or.jp/snd_soft/IK_RubyConv01/ (製品ホームページ)